

【概要版】越前市デジタル田園都市構想推進戦略 <令和5年度～令和9年度> 幸せを実感できるふるさと ～ウェルビーイングの越前市～ のデジタル活用による推進

第1章 概要

1. 策定の趣旨

令和4年12月に閣議決定された「デジタル田園都市国家構想総合戦略」において、全国津々浦々でDXが進展することで、Well-beingの実現等を通じてデジタル化の恩恵を国民や事業者が享受できる社会、すなわち「デジタル田園都市国家構想」の実現が図られるとしている。

また地域には、それぞれが抱える社会課題について、自らの地域ビジョン（地域が目指すべき理想像）を描き、デジタル技術を活用しつつ、①地方に仕事をつくる、②人の流れをつくる、③結婚・出産・子育ての希望をかなえる、④魅力的な地域をつくるという4つの取組を進めていくことを求めている。

本市では、令和5年3月に市総合計画2023を策定し、ふるさとづくりの理念として「幸せを実感できるふるさと～ウェルビーイングの越前市～」を掲げており、国の総合戦略や市総合計画との整合性を図るため、現在の第2期市総合戦略を1年前倒して改定する。

2. 位置づけ

総合戦略は、人口の現状と将来の展望を踏まえ地域の実情に応じて作成することが求められており、内容において市総合計画2023と同様であることから、市総合計画2023を組み替え一体化する。

3. 計画期間

本戦略は、市総合計画と一体のものであるから、期間は令和5年度から令和9年度とする。

第2章 基本的な考え方

1. 地域ビジョン（目指すべき姿）

市総合計画2023において、ふるさとづくりの理念とともに、3つの目指す姿として「10万人の元気と活力」、「100年人生の幸福実現」、「1000年未来につなぐふるさとづくり」を掲げていることから、この3つの姿を地域ビジョンとし、デジタル技術を活用して推進することが本戦略の目的である。

2. 基本方針

市総合計画2023を「デジタル田園都市国家構想総合戦略」で求められている4つの取組み、①地方に仕事をつくる、②人の流れをつくる、③結婚・出産・子育ての希望をかなえる、④魅力的な地域をつくるに再構成したうえ、数値目標や重要業績評価指標（KPI）を設定する。

3. 数値目標・KPI

①地方に仕事をつくる

数値目標：従業員数

KPI：製造品出荷額等、有機栽培面積等

②人の流れをつくる

数値目標：Uターン率

KPI：移住者数、「越前」の認知度向上等

③結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標：待機児童数

KPI：放課後子ども教室での子ども受講者数等

④魅力的な地域をつくる

数値目標：いま住んでいる地域に今後も住み続けたいと感じる市民の割合

KPI：1人1日当たりの家庭ごみ排出量等